

# センターだより

## 令和2年度 就労移行支援(養成施設)卒業式

### 令和二年度 卒業証書授与式



令和3年3月3日(水)、令和2年度 就労移行支援(養成施設)卒業証書授与式が執り行われました。

### 卒業生の言葉 /

あっという間の3年間でした。最初は暗号にしか聞こえなかった授業も、根気強く教えてくださる教官方のおかげで乗り越えることができました。入所して数ヶ月で大きな行事を任せられることとなり、四苦八苦したことも今ではいい思い出の一つです。また、入所生に女性が増えたことで笑い声の絶えない空間になりました。

挫折をしそうになったこともありましたが、全力で支えて下さった職員や在所生のおかげでこうして卒業を迎えることができました。卒業まで私たちに関わって手を差し伸べて下さった職員の皆様、在所生のみんな本当に感謝しています。3年間ありがとうございました。

縁有って2018年4月に当センターに入学。専門的学習と難しい実技に悪戦苦闘の日々。社会人終了感のあった私には強刺激。鍼の“ひびき”にて快感。

障害に負けず工夫と努力の仲間やユニークな教官、職員の方々に感化された充実の日々も早や3年。支えて下さった全ての人に感謝し、人生第2ステージを喜びをもって歩ませていただきます。ありがとうございました。

“踏み出せる道に光の初日かな” 酒好

3年を振り返って、だんだん視力がおち、聞いての学習で、デージーを聞いて、記憶するより、寝てしまう時間が年々早くなり大変でした。そして全くできなかったパソコンを学べた事がとても嬉しかったです。

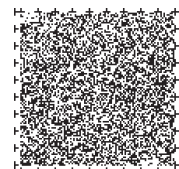
センターでは、たくさんの方に会え、いっぱい助けていただき、長い人生の中で一番充実した時間を過ごせました。ありがとうございました。

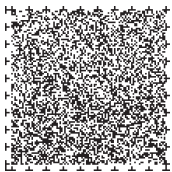
### もくじ

- P2 光友会から卒業生へ贈る言葉  
専門3年担当から卒業生へ贈る言葉
- P3 令和2年度見学説明会を開催しました  
令和2年度臨床研修講座

- P4~5 利用者の声
- P5 神戸センター宿舎のご紹介
- P6 職員研修を行いました  
福祉学習に参加しました

- P7 新任職員の紹介  
所内の新型コロナウイルス感染症対策について  
行事予定
- P8 利用者募集





## 光友会から卒業生へ贈る言葉

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今年度は、ウイルスにより世界中の様々な活動に、制限がついたり、国家試験が新しく変わったりと精神的にも大変だったと思います。

でも先輩方の教室からは、よく楽しそうな笑い声や、お互いに問題を出し合ったりと、活気に溢れていました。

そんな皆さんと新入生歓迎会やレクレーション等の行事とか、テスト後の反省会（お食事）等で、楽しかったことや、テストや勉強法のコツとアドバイスを教えて頂いたり、楽しい時間を共有できて、いい思い出が一杯です。

私達は来年度から、先輩方が居ない寂しさを感じない様、少しでも先輩方に近づけていける様に、努力し、邁進し、明るい雰囲気を受け継いでいきたいと思えます。

卒業生の皆さんは、それぞれの夢に向かって仕事に励まれることと思えます。昨今の情勢は様々な困難や壁に向き合うかもしれませんが、神戸センターでの経験を生かし頑張っている姿が、目に浮かびます。

どうか、お体には気をつけて下さい。

皆さんの益々のご活躍を心から応援しています。それでは最後にもう一度、卒業おめでとうおう～！



## 専門3年担当職員から卒業生へ贈る言葉

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

3年間のセンター生活では、楽しいことはもちろん、辛いことや悲しいこともあったかと思いますが、それを乗り越えて、晴れて、今日の卒業を迎えられました。この卒業は、みなさんにとって長年の研鑽の総括であり、未来へ踏み出すための覚悟の表明でもあります。

これからみなさんが進んでいく実社会（医療、介護の現場）はとても厳しく、多少の矛盾や不条理に耐えていくことが求められます。これまで経験したことの無い困難や様々な挫折を経験することもあるかと思えます。そのときは、それらを悪いこととは嘆かず、「自らを鍛える良い機会」と捉えて愚直に向き合ってみてください。大切なことは、自分のベストを尽くすことです。在学中に多くの仲間と先生に出会い、センターの3年間で積み上げた経験や絆を思い出し、自分を奮い立たせてください。そして挫折の数だけ強く、そして優しくなれることを信じて、愚直に歩いていってください。みなさんが真のプロフェッショナルとして活躍されることを期待しています。

教務課 森定 真

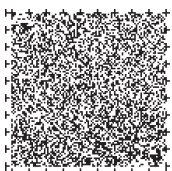
皆さん、ご卒業おめでとうございます。

これまでの皆さんの日々のご苦勞を垣間見てきましたので、卒業までたどり着けたことは、本当にすごいことを成し遂げられたのだと思えます。

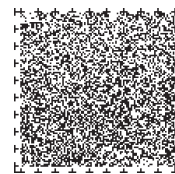
皆さんはこれだけ大事をやったのけたのだから、今後も、いろんな苦難がやってきたとしても、きっと乗り越えていくことでしょう。

センターでの苦難を乗り越えることができた事実を自信に変え、自分を信じて、頑張ってくださいね。本当に、卒業おめでとう！

支援課 嘉村 崇史



## 令和2年度見学説明会を開催しました



10月21日（水）に見学説明会を開催し、5組8名の参加がありました。見学説明会は普段の授業や訓練を公開することにより、当センターの理解を深めていただくものです。

当日は、解剖学とあん摩実技の授業、調理訓練、iPad操作訓練を公開すると同時に、普段の授業や訓練で使用する拡大読書器やルーペ、デジタイザーなどにも直接触れていただきました。

ご参加の皆さんが授業や訓練の内容について熱心に耳を傾けている姿が印象的でした。また、実際の授業や訓練の様子に触れることで、普段の神戸センターをご理解いただけたように思います。

次年度も10月中旬に見学説明会を実施予定です。詳細は、令和3年4月以降にHPに掲載予定です。多くの方のご参加をお待ちしています。



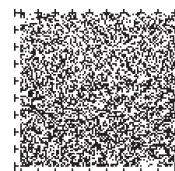
## 令和2年度臨床研修講座

10月22日（木）、当センター臨床研修室において、今年度1回目となる臨床研修講座が開催されました。

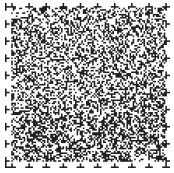
本講座は専門3年生を対象に実施しており、当日は3名の参加がありました。

今回は、講師に全国病院理学療法協会にて監事を務める中川保（なかがわ たもつ）先生をお迎えし、「片麻痺の基本動作訓練の進め方」をテーマに実技を中心にご指導をいただきました。内容は①車椅子の使用方法、②立ち座りの介助方法、③車椅子及びベッドへの移乗を中心とした基本移乗介助方法でした。

3年生にとっては臨床場面で苦慮することの多い歩行自立の困難な片麻痺例における移乗動作のコツを紹介していただくなど、あはき師が現場ですぐに使える実践的な内容で、いつにもまして実りのある講座になりました。







## 利用者の声



### 自立訓練(機能訓練)男性

#### ・自立訓練を受けて

私が自立訓練を受けようと思ったのは、網膜色素変性症の会で神戸視力障害センターのことを教えてもらったからです。

みんなの話では、見えなくなっからの訓練は大変だから、早く行った方がいいよと勧められました。

私もこれから外へ出かけ、社会とのつながりを、もとうと思っていましたから、最初に市の障害福祉課を訪ねると、調べてくれてプリントをもらいました。一度センターを見学し、交通の便も良いので通いでも大丈夫だと思いました。障害福祉サービス受給者証の交付までが、時間かかりました。それでも、いろいろ皆さんに助けをもらい、10月から通うことができました。

訓練内容は、歩行訓練、点字、ICT音声でのパソコン操作、プレクストーク、ロービジョン、電子レンジでの調理、体育、陶芸とたくさん学びました。これからは、学んだことを生かし、日常生活に役だたせ、今までのように社会とつながりを持ちたいと思います。

健康で安全な毎日を過ごし、仲間と会の活動を通して、有意義な情報の発信やスマホの活用などを考えていきたいと思います。

コロナ禍でズームミーティングなどが利用される時代です。ますますAIが発達して、人にやさしい社会になると信じています。

### 自立訓練(機能訓練)女性

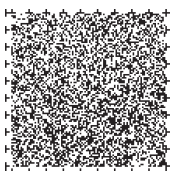
#### ・神戸視力障害センター自立訓練を受けて

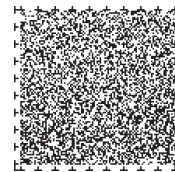
ラインを使えば無料で話せるからと、スマホを送ってくれたのですが、中心が見えず電話が鳴る度に、ドキッとし困ってアイセンター病院の一階で相談したところ、ここを教えてもらい訓練を受けることになりました。

72才の私が授業について行けるか？、迷惑をかけないか心配でしたが、マンツーマンで丁寧にトンチンカンの質問にも親切に教えていただき、スマホとアイパッド、白杖とレンジ使用の料理を習っています。今ではスマホが鳴ってもビクッとしなくなり、メールも少し打てます。アイパッドは始めたばかりですが、頑張ります。

将来の悪化に備え白杖のけいこと、先日さばの水煮缶を使ってたき込みごはんを作りました。安価で栄養満点の缶づめでおいしかったのでびっくりしました。

約四ヶ月の訓練で最初の申込みが大変でしたが、カリキュラムもきっちり組まれ、「さすが自立だな」と感心しています。ここにこれてよかった。アイパッドを使って多くの情報を取り入れたいと思っています。





## 自立訓練(機能訓練)女性

私は網膜色素変性症で5年前に左目を失明し、昨年右目の視野狭窄が急に進み仕事を辞めました。こんな私でも何かできることはないかと市の支援課でこのセンターを知り、4月から就労移行支援の方に通います。その前に通所とセンターの環境に慣れておきたいと思い、自立訓練を利用することにしました。

初めは白杖と点字くらいしか考えていませんでしたが、他にも色々な事が学べたり、同じ悩みを持った方との情報交換ができたり、訓練は大変ですが、今では楽しく通所しています。

それに、訓練の進み方や内容等を担当職員の方と相談しながら、自分の状況に合わせて無理なく行えるので、とても安心して訓練することができます。

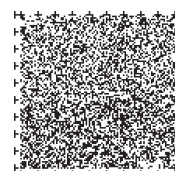
短期間ではありますが、しっかりと身に付けて、これからの生活や4月からのアロママッサージ指圧師・はり師・きゅう師国家資格取得のための職業訓練に活かし、頑張っていこうと思います。

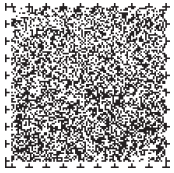
## 神戸センター宿舎のご紹介

当センターには、自宅が遠方のため通うことが難しい方に向けて、宿舎(寮)があります。一定の要件を満たせば利用することができ、訓練の無い土日祝日も利用できます。今回は、その宿舎での生活について詳しく紹介します。

生活する各居室は、学習机やロッカー、タンスが備え付けられた和室で、無線LANも完備されています。食事は1日3食を食堂で提供しており、希望すれば食べることができます。洗面所、トイレ、浴室、自炊室(冷蔵庫・電子レンジ・コンロあり)等は共同で利用となりますが、定期的に清掃された清潔な環境です。ただし、身の回りのことを介護する職員はおらず、居室からの移動、排泄、入浴及び衣類の洗濯等自分のことは自分で行う必要があります。また、外出及び外泊は、所定の手続きをしていただければ問題なく行っていただけますが、宿舎の出入り口には門限があります。

当センター宿舎は、主に昼間訓練をされる方が、予習復習を行い、体を休める環境としてご利用いただいております。





## 職員研修を行いました

当センターでは、自立支援局全体で取り組んでいる「ロービジョン者に対する機能訓練及び復職支援の推進」の一環として、「遮光眼鏡についての理解を深める」というテーマで東海光学福岡営業所の長野久典氏に、また、「当事者の立場から望まれるロービジョン支援」というテーマで、きんきビジョンサポート（KVS）の竹田幸代氏に、それぞれ講師をお願いして、職員研修会を開催しました。

遮光眼鏡についての勉強会ではZOOMを使って、初の本格的なオンライン研修となり、長野氏の丁寧な説明によって理解を深め利用者支援の参考になりました。

また、きんきビジョンの竹田氏からは当事者としてこれまでの経歴やKVSの活動を紹介いただく中で、仲間とつながることの大切さを学びました。

今後の自立訓練の中で、今回学んだことを活かしながら、引き続き関係機関とのつながりや連携を大切にしつつ、支援に取り組みたいと思います。



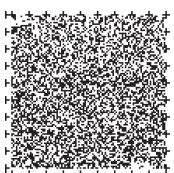
## 福祉学習に参加しました

今年度は11月に加東市立社中学校、12月に神戸市立出合小学校の2か所で、当センターの職員が、福祉学習の講師を担当してきました。

新型コロナウイルス感染症感染防止のため、例年より制限がある中で、社中学校では「視覚障害についての講義とアイマスク体験」、出合小学校では「視覚障害についての講義と白杖体験」を行いました。どちらの学校の生徒も、話をしっかり聞くことができ、

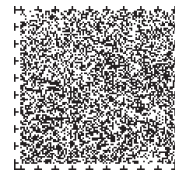


質問もたくさんいただき、視覚障害についての理解を深めていました。アイマスクや白杖の体験では短い時間の中でしたが、視覚障害者が感じる恐怖や不便さを感じとってもらえたと思います。学生の皆さんには、今回お伝えしたことを将来に少しでも役立てていただくことを望みます。

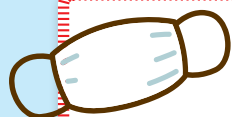




## 新任職員の紹介



この度、10月に当センターに調理師として採用されました尾波利恵子です。調理師として30数年間、病院、小学校の給食を提供してきました。私は調理をするのがとても好きです。これからは当センターにておいしい食事をがんばって提供したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



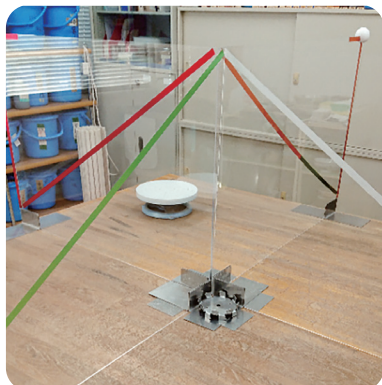
## 所内の新型コロナウイルス感染症対策について



当センターでは新型コロナウイルス感染拡大防止のため様々な取り組みをしております。今回はそのいくつかをご紹介します。

### ・パーティションの設置

所内各所にパーティションを設置し、飛沫防止の対策を講じています。



### ・手指消毒液の設置

当センターの入り口に消毒液を設置し、手指消毒を行っています。



### ・所内各所の消毒の実施

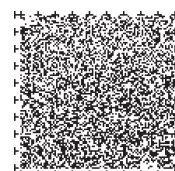
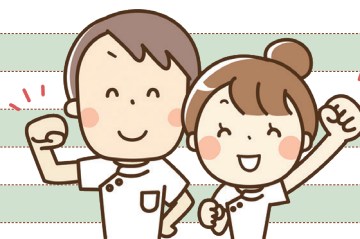
センター内各所(トイレ、ドアノブ、手すりなど)で職員が毎日アルコール消毒を行っています。



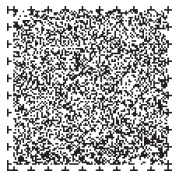
令和3年度

## センター行事予定(2021年4月から9月まで)

4月12日(月)	オリエンテーション(専門1年、4月14日まで)
//	就労移行支援(養成施設)入所式
//	就労移行支援(養成施設)始業式
//	前期授業開始
5月中旬	解剖見学実習
18日(火)	第1回模擬試験
20日(木)	第1回総合避難訓練
6月17日(木)	前期中間一斉試験(6月18日まで)
7月上旬	福岡視力障害センターとのスポーツ文化交流会
17日(土)	就労移行支援(養成施設)利用者夏季休業(8月22日まで)
//	オープンキャンパス・自立訓練体験会
8月7日(土)	自立訓練(機能訓練)利用者夏季休業(8月15日まで)
9月上旬	敬老治療奉仕
15日(水)	前期期末一斉試験(9月17日まで)



# 利用者募集



視覚に障害のある方を対象として、就労移行支援（養成施設）、自立訓練（機能訓練）のサービスを提供しています。

就労移行支援（養成施設）は3年制で、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家資格取得のための職業訓練を行います。資格取得後の進路は、高齢者施設や一般企業のヘルスキーパー（企業内理療師）等への就職、治療院の開業、進学等です。

自立訓練（機能訓練）では、歩行、パソコン、タブレット端末、録音再生機器、視覚的補助具（ルーペ、単眼鏡、拡大読書器、遮光レンズ）、日常生活に関する訓練（例：調理）等を行います。訓練を修了された方の中には、当センターの就労移行支援（養成施設）に進む方もいます。

利用を希望される方は、まず当センターにご相談ください。来所による相談や見学も受け付けています。なお、利用申込に必要な書類は当センターから取り寄せていただくか、ホームページからも印刷できます。利用に関する相談以外に、生活に役立つ道具のご紹介、他の施設やサービス等のご案内もいたしますので、お気軽にご連絡ください。

## 就労移行支援（養成施設）

- 対象** 視覚に障害のある方で、施設利用について市区町村から「障害福祉サービス受給者証」の交付を受けた、次の①または②に該当する18歳以上の方。
- ①学校教育法第90条第1項の大学に入学することができる方。
  - ②当センターが実施する「個別利用資格審査」によって、高等学校を卒業した者に準ずる学力があると認められた方

**募集人員** 20名（あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程）

**利用開始** 令和4年4月上旬

**利用期間** 3年間

**利用方法** 通所またはセンター内宿舎利用（宿舎は休日も利用可）

**受付期間** 令和3年8月頃より（お問い合わせ下さい）

## 自立訓練（機能訓練）

- 対象** 視覚に障害のある方で、施設利用について市区町村から「障害福祉サービス受給者証」の交付を受けた方

**定員** 10名

**訓練内容** 歩行 パソコン 点字 ロービジョン 日常 調理 スポーツ 陶芸 レクリエーションなど

**利用期間** 個人に応じる

**利用方法** 通所またはセンター内宿舎利用、訪問訓練（※応相談）

**備考** 利用申込みや利用開始時期は随時

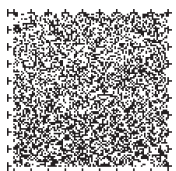
## センター見学のご案内

当センターでは、随時見学を受け入れております。

「センターの利用を考えたいけど不安」というご本人やそのご家族、「紹介したいけど、よく分からない」というお知り合いの方や福祉関係者の皆様など、授業や訓練の様子、宿舎など、見学できます。お気軽にお越しください。

見学が可能な時間 平日（月曜日～金曜日） 9時～17時まで（要予約）

電話：078-923-4670 見学をお考えの方はご予約ください。



連絡先

## 神戸視力障害センター 支援課

電話 (078) 923-4670 FAX (078) 928-4122

ホームページ：http://www.rehab.go.jp/kobe/ E-mail：soudan-kobe@mhlw.go.jp